



みき

# 三木町議会だより

熱血指導を受ける町内スポーツ少年団  
(香川オリブガイナース野球教室)



## 6月定例議会

### 第一回臨時議会

正副議長再任

②

### 補正予算決まる

白山景観整備事業関連等

③

### 一般質問

5議員が登壇！

⑤

### 意見書提出

「ウエルサンピファさぬぎ」の存続を求める

⑪

### 第一回追跡レポート

高速道路バスストップ設置について

⑬

NO.

# 112

平成17年7月31日発行

三木町議会 編集●議会広報編集委員会

〒七六一〇六九二 香川県木田郡三木町大字氷上三三〇

TEL087(891)3311

三木町HP <http://www.town.miki.lg.jp/>

# 第二回 臨時議会

議長に石井定夫氏、副議長に中野國義氏をそれぞれ再任したほか、各委員会構成を決めた。  
石井議長は5度目の就任となる。



石井議長



中野副議長

去る4月25日の臨時議会におきまして、議員各位の温かいご推挙を賜り、私どもが正副議長の要職に就任させていただきましたことになりました。誠に光栄と存じますとともに、その責任の重

大さを痛感いたしている次第です。心を引き締めながら議会運営に努めてまいり所存であります。

今、地方公共団体におきましては、分権型社会の実現を目指し、地方分権改革の推進や行財政基盤の充実強化など多くの重要課題を抱え、懸命の努力を続けていくところであります。

また、各町の行財政運営についても、地方の自主性を高めていくために「三位一体の改革」を早期に実現し、地方分権時代にふさわしい地方財政制度を確立していかなければなりません。

一方、本町におきましては、第四次三木町振興計画に基づき、各種施策を積極的かつ確実に推進してまいります。

特に、下水道事業の推進については、井上北部地区について順次農業集落排水事業の拡大を図ってまいりますとともに、中央部における公共下水道事業の推進にも全力を傾注して取り組む決意であります。

何卒、町民皆様方の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。ごあいさついたします。

### ○議長選挙結果

石井 定夫	12票
芳岡 一美	6票
白 票	2票

### ○副議長選挙結果

中野 國義	10票
宮武 貞夫	7票
白 票	3票

### 総務常任委員会

委員長	原田 照治
副委員長	西丸 一明
委員	石井 定夫
委員	古市 弘
委員	谷本サクミ
委員	宮武 貞夫

### 教育民生常任委員会

委員長	山本 繁
副委員長	芳岡 一美
委員	中野 國義
委員	古市 嘉忠
委員	香西 俊之
委員	白井 正治
委員	香西 義典

### 建設経済常任委員会

委員長	谷畑 健二
副委員長	香西 茂知
委員	三木 和則
委員	溝渕 清美
委員	筒井 米市
委員	糸目 隆光
委員	三宅 貞夫

### 議会選出監査委員

古市 嘉忠

### 議会推薦農業委員

三宅 貞夫

### 議会広報編集委員会

委員長	芳岡 一美
副委員長	白井 正治
委員	中野 國義
委員	西丸 一明
委員	三宅 貞夫
委員	香西 義典
委員	三木 和則

人権擁護委員に

山地孝志氏を同意



平成17年4月より、池戸商工センター所長。

大字下高岡(55歳)

### 第2回定例議会(6月) 議員出欠表

議員氏名	6/22	6/27	6/29
三木 和則	○	○	○
香西 義典	○	○	○
白井 正治	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○
芳岡 一美	○	○	○
香西 俊之	○	○	○
古市 嘉忠	○	○	○
香西 茂知	○	○	○
西丸 一明	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○
糸目 隆光	○	○	○
宮武 貞夫	○	○	○
谷本サクミ	○	○	○
古市 弘	○	○	○
原田 照治	○	○	○
筒井 米市	○	○	○
山本 繁	○	○	○
溝渕 清美	○	○	○
中野 國義	○	○	○
石井 定夫	○	○	○

○印は出席

# 6月定例議会

## 補正予算7億612万円余を追加

### 一般会計予算96億112万円余に

#### 主な歳出

災害復旧費に1億6977万円  
コミュニティバス運行関連に688万円余  
白山景観整備事業関連に6900万円余  
財政調整積立金（預金）4億4千万円余

平成17年第2回定例議会は、6月22日から29日までの8日間の日程で開会し、一般会計補正予算など8議案を審議したほか、土地開発公社の経営状況などの報告や3件の意見書案を原案通り可決した。

一般質問では5人が登壇し、防災対策をはじめ介護保険、役場窓口サービス、次世代育成支援推進計画、白山公園問題などについて当局をたどした。

#### 一般会計

主な内容としては、歳入で台風災害復旧に対する国よりの負担金として1億416万円余、同じく災害復旧費として町債2650万円を計上、前年度繰越金として5億7245万円を追加した。

歳出では、サンサン館みきで運行しているバスを町

内公共施設を巡回するコミュニティバスとして試験運行する予算として688万円余、津柳地区最終処分場の浸出水処理施設建設費に750万円、白山公園景観整備事業の防災工事・資材費として6900万円余、

台風23号関連の公共災害復旧費に1億5470万円、

農業災害復旧費の原材料として1500万円余を追加した。

また、今後の財政運営の健全化を図るため、財政調整積立金として4億4千万円余を追加した。

#### 町土地開発公社

##### 経営状況を報告

町から委託されている住宅用地、造成及び分譲事業などの経営状況を説明する書類が、当公社から議会へ提出された。

16年度の決算に関する事業実績、1年間の経営成績を明らかにした損益計算書などのほか、17年度については、ふるさとピア創設宅地分譲及び尾崎団地分譲事業計画や予算などが報告され、29日の本会議で承認された。

#### 三木町使用料、手数料

##### 徴収条例の一部を改正

本条例は、虹の滝キャンプ場の管理棟の老朽化に伴い改修を行ったことから、施設使用料を設定し、交流施設として広く住民の方々が利用できるよう当該条例の一部を改正するものである。

# 審議 議案



## 一般会計 補正予算

小規模災害40万円未満への  
町費補助断行

1500万円余

**問** 農地や農業施設に町単独の補助をするのであれば、商工業者や一般住民の中にも甚大な被害を受けた人もいる。

**答** 農業者だけに町費補助を出すのは不平等ではないか。

**問** 町長

今回の補助は、台風23号による被害復旧によるもので、国・県の補助対象にならなかった小規模災害被災者の救済と考えている。

コミュニティバスを  
試験運行

685万円余

**問** 南部の山間部へ走らせる計画はないか。

**答** 政策情報課長

高齢者や障害者などの交通弱者に対する考えから、サンサン館みきを中心とした公共施設の利用が目的であり、一般のコミュニティバスとは違うので、山間部への乗り入れは難しい。



▲試験運行されるコミュニティバス

白山景観整備

6900万円余

**問** 次から次に経費が計上されてくるが、工事内容についての説明を。

**答** 産業振興課長

県との合意ができたので防災関連工事として6100万円、作業道の舗装やU字溝などの原材料費として660万円が必要だ。

**問** 計画当初から今日まで掛かった費用は。

**答** 産業振興課長

平成15年度に200万円、平成16年度に2670万円、平成17年度当初に1160万円で合計4030万円となっている。それと今回の費用分だ。他には埋蔵文化財発掘費用として約200万円掛かっている。

**問** 山頂部分に露出した岩盤があるが安全対策は。

**答** 産業振興課長

地盤強化などして安全に

は万全を期したい。



▲急がれる安全対策



# 質問 災害弱者の防災対策を急げ

## 答 迅速に対応する



香西 義典 議員

本町における災害弱者数と所在の把握また、現在の状況はどうか、また、役場内の各課との対応と連携はどうなっているのか。

町長

要援護者は平成16年4月1日現在の町内の寝たきり在宅者は146人、一人暮らし高齢者は554人。高齢者世帯は433世帯、心身障害者等1549人であり、今後も、民生委員や障害者支援センターなどを通じて、所管課において、最新の情報収集に努めていく。

災害時の要援護者の対策については、三木町地域防災計画において、対策の大綱を定めているが、具体的な対応方法は、昨年の台風23号災害時の反省など踏まえながら、対応マニュアルを作成し、それに基づいた訓練を実施し、迅速かつ円滑な応急対策が図れるよう努めていく。

災害弱者への災害時の伝達方法についての対策が講じられているか。

町長

一人暮らしの高齢者宅には、緊急通報装置の整備・普及を図り、各地域の民生委員や自主防災組織とも連携を図り、災害時の要援護者に対しても災害情報が迅速にかつ円滑に伝えられるよう努めていく。



▲災害弱者の高齢者(高齢者スポーツ大会にて)

### 介護保険制度の見直しについて

本年4月1日現在の要介護度別の認定者数及び施設入所者数はどのような状況か。

町長

要支援が253人、要介護1が458人、要介護2が138人、要介護3が143人、要介護4が122人、要介護5が139人の合計1253人であり、施設入所者は、白山山荘76人、みき山荘6人の合計82人である。

介護予防事業の取り組みについて示せ。

町長

「さんさん会」では、元気老人の介護予防としての健康チェック・体力維持・栄養指導などを行っており、「南部高齢者保健センター」では、転倒時の骨折予防・健康相談・食の自立支援などを目的として活動している。

### 指定管理者制度の導入について

地方自治法の改正により、従来の管理委託制度に変わって、平成18年9月までに指定管理者制度に移行するか、直営かを選択することになったが、単に施設管理の経費の縮減による財政難を救う制度でなく、町民の立場に立ったメリット、デメリットが何かを十分に検討する必要がある、町民の民意をどのように把握していくのか。

町長

各施設ごとの設置の目的が、何であるか、また、住民サービスの向上に役立つのか、さらには、行政事務の効率化が可能であるのかなどを提案の上、方針を定めていく。



山本 繁 議員

質問 介護保険の改善を!

答 検討を重ねている

今日、介護保険や年金のためということで負担増が増えている。負担増のため悲痛な声となっている。さらに本年10月より、施設入所者のホテルコスト代として居住費、食費などの徴収が予定されており、来年4月より、在宅サービス制限が予定されている。さらに障害者の福祉サービスにも1割の自己負担を導入しようとしている。

さらに在宅サービスの利用制限、そして本格的な保険料の大幅増などが計画されているようであるが、これらについて町長の見解を伺う。

町長

施設給付の見直しについては、ご指摘のように本年10月より在宅介護と施設介護の利用者負担の公平性、介護保険施設における食費と居住費を保険給付の対象外とすることが予定されている。

来年4月より、地域密着型サービスとして要介護者の状態や希望に応じてサー

ビスを提供することである。保険料については、「第1回三木町高齢者保健福祉計画策定委員会」において検討を重ねているところであり、本年12月を目途に提示する予定である。



▲介護予防に取り込む「さんさん会」の皆さん

「新しい歴史教科書」問題

新しい歴史教科書問題

今年2005年は、戦後60年という大きな節目の年である。今日、あの戦争での戦勝国も敗戦国のいづれかを問わず、二度とあのよくな悲惨な戦争を繰り返してはならないという決意で、

平和な未来に向かって努力をしている。

なぜなら、あの15年にわたる日本の戦争は侵略戦争であったこと、そしてこの戦争は、最初から他国の領土を取ることで、また、その戦争手段は、無法さと野蛮さにおいて、その例をみないひどいものであった。

それにもかかわらず、日本とドイツは同じ敗戦国でありながら、戦争への本格的な反省がなかった。ここに日本で「新しい歴史教科書」が生まれるという事態が生まれた。この教科書は、あの15年戦争は正義の戦争であり、アジア開放のためだったと述べている。さらに、この戦争を「大東亜戦争」と呼称している。

古市教育長

「新しい歴史教科書」は、平成18年度採択予定の教科書であり、その内容については多くの議論がある。本日に子どもたちにとって、歴史を通じて郷土を愛する人間が育ってほしいと考えている。

三木町の未来像

平成の大合併で本県では、5市38町であったのであるが、このまま合併が進むと8市9町へと半減する予定である。鳴り物入りの大合併も「負担は軽く、サービスは十分に」という願いは裏腹に矛盾が広がっている。とりわけ合併をしない本町にも広域消防などに影響が出ている。

これに対する対策や町の将来をどうするのか、職員・町民挙げて自立の町として知恵を集めるべきでないか。

町長

広域で取り組んだ消防など個々の対策を進めつつ、住民の安心と安全を心掛け「身の丈ほど」の町づくり邁進したいと考えている。

# 一般質問



西丸 一明 議員

## 質問

### 窓口接客サービスの向上を

## 答

### 徹底して強く指導する

**町民と身近に接する職員**  
の対応の善しあしが、職員  
全員また役場自体の評価に  
つながる。  
笑顔とあいさつを徹底す  
べきではないか。

町長

あいさつは基本的な社会的ルールだ。職員の中には、こういったことが守れない者がいるのも事実だ。

今後は、個別的に強い態度で臨む。場合によっては訓告、戒告などの厳しい処分も考えていく。

### 案内専用カウンターの効用は？

ホールに案内専用カウンターがあるが、本当の接客サービスに役立っているのか。

町長

1日当たり平均10人程度が利用している。接客のみで待機はしていないので自分の仕事もある関係上、座って事務処理もしているのが現状である。

### あいさつのマニュアルを作ってはどうか

ホテルやスーパーなどでは、5大用語や7大用語のあいさつマニュアルがある。

職員の一人ひとりの資質に頼るのではなく、マニュアルに従って実施すればこんな簡単なことはない。

町長

職員には、民間の研修制度を利用し、接客の研修も受けさせている。町民の皆さんから信頼されるような役場にしたい。



▲案内専用カウンター

### 笑顔とあいさつの励行

窓口職員の笑顔とあいさつの励行は、職員や役場に対する町民の信頼につながる。

明日からでも、町民から「感じがよくなった！」などの声が聞こえるようにトップリーダーとして町長の管理能力を発揮してはどうか。

町長

早速、課長会や職場で徹底して、明るい職場になるよう指導する。

### 平木コミュニケーションセンターの運営・管理について

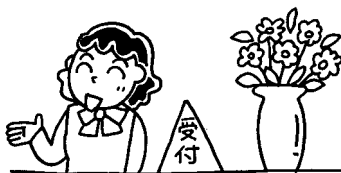
職員の勤務状態や館内での飲食、町外者の利用料金などに利用者の中からいろいろ不満の声が上がっているが、実態の把握をしているのか。

北岡健康福祉課長

管理人や従業員の聞き取

り調査をしたが、ご指摘のような違反行為はなかった。退勤時間はローテーションの関係上、早い人もいる。飲食は利用者が自らする場合はよいが、施設管理者が斡旋することは認めていない。利用料の不正もないと聞いている。

今後、利用者から不満の声が上がらないように、公共施設として多くの人に気持ちよく利用してもらえようように一層の指導監督をしていってほしい。





谷本 サクミ 議員

# 質問 食育の取り組みについて

## 答 親子に相談指導をしている

近年青少年の食生活の乱れから、国政レベルで食育が考えられるようになった。本町の児童生徒の食生活の実態と、食育の取り組みについて伺う。

古市教育長

給食や家庭科の時間等で地域の関係機関などと連携して、地産地消、親子料理教室を実施している。県内で逸早く血液検査を導入、親子・個別相談指導など、生活習慣病の早期発見と予防に取り組んでいる。平成17年度から3カ年、文部科学省の食育に係る地域研究指定を受けている。

### 次世代育成支援対策推進法について

この法は、本年度を初年度とし、5カ年計画で施行される。本町の次世代育成支援行動計画は前年度策定されているが、その基本理念、子育て支援の総合的拠点の場所、数値目標等について伺う。



▲親子料理教室の様相

本町の青少年育成三木町民会議には、「町ぐるみで子どもを守り育てよう」と決めている。行政、地域、町民に協力を求めているが、広く町民に内容を示すべきではないか。

北岡住民生活課長

基本理念は、子どもの利益が尊重される環境づくり、親と子の育ちを支援する環境づくり、地域で子育てを見守る環境づくりであり、総合的拠点の場所については、今後、調査研究してい

く。数値目標については、今回の行動計画にできる限り入れており、広報みきに順次掲載していく。

### 町内巡回バス運行について

現在「サンサン館みき」へのシャトルバスを本年11月1日を目途に町内を巡回バス運行が計画されているが。

町長

コミュニティバスの運行は、取りあえず5カ月間試験運行し、利用状況などを見極めた中で、財政状況との整合性を図りながら、費用対効果を十分に勘案した上で計画していきたい。

### 自主防災組織活動の指導育成について

広報みき7月号に自主防災活動の内容が今後掲載されるとあるが、既結成組織の研修、合同訓練、防災

機材の調達等は、組織が自主的に取り組むものか。また有事の際、犠牲になるのは高齢者と子どもであるが、子どもは将来の防災の担い手として教育が求められるが、防災教育はなされているのか。

町長

昨年の台風23号災害の教訓を踏まえ、自主防災組織の結成促進、讃岐地区広域消防本部と連携し、消火訓練や救命講習などを要望に応じて実施すると共に、本年7月にオープンする香川県防災センターを利用した地震や暴風体験、また、あらゆる個別訓練を包括した総合防災訓練の実施も検討していきたい。

# 一般質問



古市 弘 議員

## 質問

### 白山開発（樹種の転換）の 今後の見解は

## 答 公園づくりに最善の努力をする

全体計画の中で、桜の植栽の進捗率40パーセント進められているが、残りの60パーセントの樹種の転換に伴う利用推進について伺う。

ボランテニア団体の協力をいただきながら、次世代へ誇り得る白山公園づくりに最善の努力をしていきたいと考えている。

町長

昨年は、6カ町村合併によって三木町が誕生してから50周年を迎え、この記念事業の一環として白山の樹種の転換を図って、住民の癒しの場の提供とウォーキングコースの拠点として、ボランテニア団体などの尽力によって、面積2・8ヘクタールの樹木を間伐して桜を植樹している。  
景観整備に伴う15年度、16年度、17年度の3カ年で総事業費1億1千万円余りの執行計画がなされているなかで、白山開発の過程を総括して見解を伺う。

ソメイヨシノの苗木一四〇〇本余り植樹されているが、桜の花びらは短期間で散り落葉樹でもあり、町木（クロガネモチ）や町花（シヤクヤク）、記念樹（メタセコイヤ）、キンモクセイなど四季折々の樹木を植樹すべきではないか。



▲防災対策が急務である白山の西斜面

町長  
県との事前協議を踏まえながら、環境保全・景観保全・防災対策に配慮した白山公園づくりに慎重の中にも慎重を期して、計画的に完成をしたい。

町長  
適正な価格で地権者のご理解が得られるよう努力する。

三木東部農業集落排水事業の最終処理場の用地単価と用地交渉は。

町長  
用地については関係者と協議をしている。処理場の位置については、国・県の指導もいただきながら、なお一層検討を重ね具体化していきたい。

井上南部農業集落排水事業の最終処理場用地交渉の状況と処理場の変更は。

## 下水道の事業計画 について

町長  
桜のほかに四季を通して自然にふれあいができる多種多様の樹木を植栽していきたい。

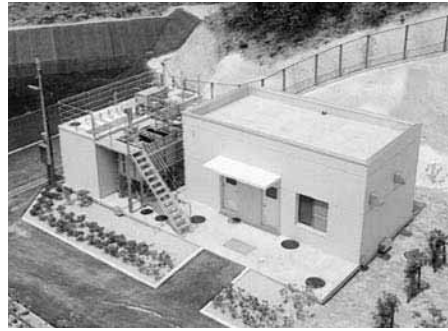
町長  
公共下水道の最終処理場の方式は、OD方式か土壌浄化システムなのか、また国土交通省との展開はその後どうなっているのか。

町長  
国土交通省からの補助金によって事業計画を進めていたが、公共下水道と農業集落排水事業をセットにして、新たな交付金制度を利用するため、事業認可申請の手続きをしているところである。  
処理方式については、事業認可が得られてから再検討をしたい。



# 委員会 レポート

## 教育 民生



▲浸出水処理施設

一般廃棄物最終処分場の貯水槽設置工事建設について

処分場の浸出水を処理施設において処理し、新しく設置する貯水槽（容量60トン）に入れ搬出処理を行う。

地下水は、塩素濃度が下がり、地元の同意が得られれば放流したいという報告があり、それらについて質疑がなされた。

問

地下水の塩素濃度が下がり、地元の放流同意が得られる濃度は。

答 環境保全課長

県からは、1リットル中、500ミリグラムまで下がれば、地元と交渉できると聞いている。

問

埋め立て層に雨が入らない対策は。

答 環境保全課長

経費面を考慮して、ビニールハウスの廃材ビニールを全面的に覆う作業を進めている。

問

浸出水排水管修復工事による浸出水の漏洩がなくなったというデータの有無は。

答 環境保全課長

浸出水と地下水の塩分濃度については、従来は数値に差がなかったが、現在は3倍近く浸出水の濃度が高いということから、当該修復工事によって、浸出水と地下水は分離されている。

## その他調査案件

- ・白山小学校大規模改造工事について
- ・健康生きがい中核施設サンサン館みきの駐車場整備計画について

## 建設 経済



▲被災した農地

平成16年台風23号災害復旧事業及び産業振興課などから17年度主要事業計画についての説明及び報告があった。

主要事業については次のとおりである。

- ・米政策改革について
- ・中山間地域等直接支払交付金事業について
- ・白山景観整備推進事業の防災対策について

問

小災害における被災金額の積算方法は。

答 産業振興課長

担当職員が簡易な測量を行い、総合単価に基づいて積算した。

問

小災害に係る財源について起債の対象となるか。

答 産業振興課長

起債の対象とはならない。

問

小災害の町費助成については、農地30パーセント、農業用施設40パーセントを上限としているが、近隣他市の状況は。

答 産業振興課長

さぬき市が農業用施設のみで40パーセント、東かがわ市も同様で30パーセント、高松市が農地70パーセント、農業用施設85パーセントとなっている。

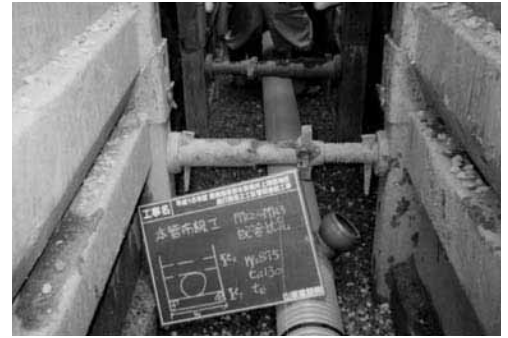
**問** ほ場整備完了地区内の農道に対して、町道認定も農道補修原材料の支給もないのはなぜか。

**答** 土木建設課長  
現在は行っていないが、今後検討したい。

## 下水道推進

**問** 公共下水道事業計画について。

**答** 上下水道課長  
処理用地は、高松市側の協力が得られないことから大宮橋より東で検討しており、面積は約2万4000平方メートルで、処理用地の測量、不動産鑑定に事業費600万円を取り組む。



▲本管布設工事の様相

**問** 本年度の農業集落排水事業の概要は。

**答** 上下水道課長  
井上南部地区については、管路延長3218メートル、設計一式、補償一式等を事業費2億8368万円余で、三木東地区については、管路延長677メートル、処理施設の設計及び地質調査一式等を事業費2億8368万円余で、また、三木中央地区については、基本設計及び全体設計一式等を事業費8811万円余で計画している。

## 意見書

議員から、次の3件について意見書案が提出された。  
審議の結果、全て可決され、内閣総理大臣をはじめ関係行政庁に送付し、その実現を要請しました。



### ○「ウェルサンピアさぬき」の存続を求める!

(要旨)「ウェルサンピアさぬき」は、地元住民の切なる要望が実り平成9年に開設され、地元三木町のみならず県内外の方々に、保養・スポーツ・宿泊など交流また憩いの場として大いに利用され、経済発展を始め健康と福祉の増進に大きく寄与している。

この施設の存在は、地元経済の発展と活性化にも大きな影響を及ぼしており、この公的施設が無くなることは、地元はもとより地域にとっても大きな損失につながると危惧している。

よって、年金福祉施設「ウェルサンピアさぬき」の存続を求めることを強く要望する。  
提出先／内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

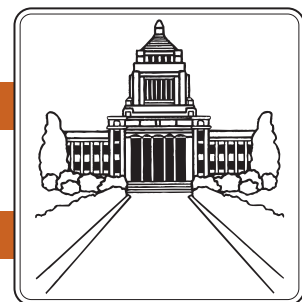
### その他の意見書

### ○分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める!

提出先／内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

### ○WTO・FTA交渉に関する意見書!

提出先／内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣



# 請願・陳情のゆくえ

## ○平成17年 陳情第1号 ●墓苑用地拡張に関する陳情書

2月28日 提出者 鹿伏東自治会長 北 多田 均  
同 南 中山 明 (継続審査)

本件は、鹿伏東集落内に所在する墓苑用地について、非常に狭隘になっていることから、隣接地の地権者から墓地用地として、譲り渡すことについて了解が得られたため、田・畑の5筆2,746平方メートルを町において買収を願いたいというものです。

**問** 議員：墓地拡張に係る周辺同意の範囲は。  
**答** 環境保全課長:おおむね200メートル以内の土地所有者及び家屋所有者並びに各地区住民の代表者全ての承諾書が必要。

**問** 議員：本町における新興住宅は、今後も増加傾向にあり、墓地用地拡張問題は、町として避けられない課題となると思われるが、今後の取り組みは。  
**答** 助役：今後、このような事案が連鎖反動的に波及していくことが懸念されることから、町営の墓地公園も視野に入れながら納税者の理解が得られるよう、財政の健全化も網羅した中で、今後慎重に考えていきたい。

## ○平成17年 陳情第2号 ●「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書採択を求める陳情書

2月17日 提出者 食とみどり、水を守る香川県民会議  
議長 三好 義光 (取り下げ)

## ○平成17年 陳情第3号 ●W T O・F T A交渉に関する意見書採択を求める陳情書

2月17日 提出者 食とみどり、水を守る香川県民会議  
議長 三好 義光 (採 択)

### 工事請負契約を締結

●工 事 名	三木町立白山小学校	指 名 業 者	12社
	校舎大規模改造工事	契 約 金 額	181,650,000円
契 約 方 法	指名競争入札	契 約 の 相 手	河西建設株式会社

### 議会の動き

29	27	23	22	15	10	6 / 9	30	17 / 19	5 / 13	25 / 26	21	19	18	4 / 7	
全会協議	全会協議(採決)	全会協議(質疑、一般質問)	建設経済常任委員会	議会広報編集委員会	議会運営委員会	建設経済常任委員会	総務常任委員協議会	教育民生常任委員会	議会広報編集委員会視察研修	下水道推進特別委員会	第1回臨時会	議会広報編集委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会	議会広報編集委員会

# 第1回

一般質問や決算特別委員会で指摘した事項に、町当局がその後、どう取り組んでいるのかを追跡調査し掲載します。

# どろ なっどんな?

# 追跡レポート

## ① 高速道路バスストップ設置について

高速交通ネットワークの整備に伴い、京阪神方面への高速バスの利用が高まっている。町内でバスストップの設置を考えてはどうか。

平成14年9月 一般質問

### 町長答弁

当初、これほどの需要があるとは予測していなかった。今後は、国・県などに強く働きかけていきたい。住民の期待に応えられるよう努力する。



現況調査などを行い、利用者、住民にアンケート調査を実施した。具体的調査資料に基づき、四国道路整備局などに強く設置要望をし、早期実現に向け努力している。見通しは明るい。

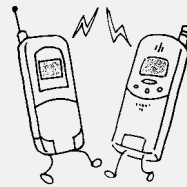


▲バスストップ(津田)

## ② 情報化時代に即応した新規通信網を

有線放送電話の早期廃止を図り、情報化時代に即応した新規通信網の構築に努められたい。

平成15年10月 決算特別委員会



平成17年3月で有線放送は廃止し、防災行政無線の増設を計画している。また、コンピューターを活用し、ホームページの大幅なリニューアルによる町情報の配信、本年9月より携帯電話、インターネット接続されたパソコンへの火災や災害情報をメールで配信するシステムを運用開始の予定である。



▲防災無線(三木町役場)



# 元気なグループ紹介

健康で楽しい生活を仲間です。各地区的公民館等ではいろいろな活動をしていきます。今回は、氷上にある地域交流センターの「お茶に親しむ」グループの紹介です。

## 「茶に親しむ」

お茶の稽古と言いますと「暑い時に、しびれを切らして汗をかいて、よう頑張るわ」と言われます。昨今はお茶ブームで、お茶にもいろいろあって、お抹茶、煎茶、中国茶、紅茶、コーヒー、ハーブティに食事時に飲む種々のお茶にと、T・P・Oに合わせて、それぞれ作法があります。

地域交流センターでは、お抹茶を石州流の白井マツ工先に毎月第2、第4木曜日の午後7時から9時までの2時間ご指導をいただいております。奥義の深い、お茶の稽古ではなく、薄茶に茶菓子に道具類にと、四季折々の季節感を感じ楽しんでおります。一服の薄茶で心を和らげ、幸せをかみしめています。



私たちを取り巻く環境は、生活習慣病の増加、高齢化の進行、寝たきり、痴呆などの増加で社会と個人の負担が増大しております。お茶の稽古を通して、皆と一緒に明るく元気で実り豊かな生活を送り、健康寿命を延ばしていきたいと思っております。

## 自治功労表彰に

### 4 議員

地方自治の振興に功労があったとして、香川県町村議会議長会自治功労（在職10年以上）に4名が表彰され、その伝達が、6月22日、本会議場で行われました。



谷畑 健二 議員



中野 國義 議員



香西 茂知 議員



西丸 一明 議員

## 広報編集委員 視察研修



この春、新たなメンバーでスタートした広報編集委員7人は、5月17日と18日に宮城県蔵王町・大郷町を訪問した。広報誌の全国コンクールに多く入賞をしている蔵王町では、研修予定時間を大幅に超過するほど熱心に意見交換が行われた。大郷町の研修は、終始和やかな雰囲気の中で、議会広報編集にかける熱意が伝わってくるような研修であった。

## 編集後記

5月の臨時議会で議会人事、委員会構成も決まり、新たな議会活動がスタートした。▼全国に吹き荒れた市町村合併も、ほぼ枠組みが決まりつつある。合併しない我が町も厳しい財政状況のなか、山間地域の学校のあり方を含む教育問題、私たちの生命や財産を守る消防行政、防災、環境、福祉など問題は山積みであり、議会の責任は重い▼昨年の台風、今年は11年ぶりの異常渇水、人間は自然に逆らうことは出来ない。水の大切さ、限りある「命の水」。常に備えをすることが大切。平成6年の教訓を生かし、今こそ、行政と住民が知恵を出し合い、協力し合って暑い夏を乗り切らねばならない▼議会だよりも少しリニューアルし、町の現状と未来を少しでも、この議会だよりで反映させていきたいと思えます。

(K・Y)